

令和8年度

# 小・中学生フォーラム in 落合第四小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムの目的は、区の施策の参考に子どもたちの意見を取り入れるとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することとなっています。

7月2日（木）、落合第四小学校（下落合2-9-34、校長：中里満晴）の6年1組29名、2組29名、3組29名が「我が街 落合の地域をよりよくするための提案」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは、落合地区の現状や課題について、公共交通、災害対策、保護猫、公園でのボール使用、喫煙所など様々な視点で調べ、そこから自分たちのまちをより良くするためにどうしたら良いのかを考え、スライドにまとめて発表しました。児童たちは、授業で行った模擬選挙で選挙演説を体験していたことから、自分たちの意見に自信を持って、堂々と発表していました。

児童たちの発表後、区長からは各グループの提案に対して、新宿区の取組の紹介のほか、区で実現できること、できないことの両方についても触れながら、一つひとつ丁寧に回答していました。児童からの「にゃんデマンドバス（区が実証実験を行っている、AIを活用した予約型の乗り合いバス）の予約方法をより分かりやすくしてほしい」という提案に対して、「電子での利用登録の操作を難しいと感じる人が取り残されないように、寄り添いながら伝える努力をしていきたいです。」と話しました。

自分たちのまちについて改めて考えることとなる、有意義なフォーラムになりました。

